

平成31年度 美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	「美術2」（光村図書）						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・美術Ⅰの発展的な内容を学習します。自然や社会の中にいる自己を見つめることや、感じとったことなどから考える「絵画・彫刻」、目的や条件を考える「デザイン」、視覚効果を生かし伝えることを考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
- ・表現形式の特性や、色彩・形体に着目し、自分なりの感じ方、見方、表現を深められるよう学習していきます。
- ・素材と向き合いながらイメージを膨らませ、自分なりに工夫してイメージしたことを表現する力を身につけましょう。

2 学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3 学習評価（評価基準と評価方法）

観 点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観 点 の 趣 旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心をもち、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や心豊かな生き方の創造に関わる美術の働き、美術文化などの理解を深め、そのよさや美しさを多様な視点から創造的に味わっている。
評 価 方 法	ワークシート 制作の様子 作品	アイデアスケッチ ワークシート 制作の様子 制作途中の作品 作品	制作の様子 (道具の扱い方) 制作途中の作品	発表態度 鑑賞態度 ワークシート
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

#### 4 学習の活動

学 期	単 元 名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1 学 期	オリエンテーション	<b>【鑑賞】</b> ・自己紹介 ・昨年度の振り返り、教科書等の鑑賞を通して「美術Ⅱ」の学習イメージをもつ。 ・絵の具や棚の整理 ・琳派の作品鑑賞	○			○	a: 美術Ⅰでは体験していない表現に興味を持ち、これからの学習に意欲を高めている。 d: 日本美術のよさや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。	ワークシート 学習活動の様子
	商品開発とパッケージデザイン	<b>【デザイン】</b> 紙粘土でお菓子をテーマに新商品を作り、そのパッケージも同時にデザインする。 ・デザインの意義と、課題の主旨を理解する。 ・ワークシートにお菓子のデザインを描く。 ・絵の具で色をつけた紙粘土を使い、下書きで描いたお菓子を作る。 ・お菓子ができたら、商品の魅力を伝え、商品を買いたくなるパッケージの下書きをする。 ・ロゴデザインも同時に考える。 ・下書きができたら、ケント紙にパッケージの展開図を描き、組み立てる。 ・組み立てたら、そこにデザインとロゴを描く。 ・最後に、お菓子のコンセプトやデザインのテーマを発表しあう。	○	○	○	○	a: 生活や社会を心豊かにする美術の働きや、デザインの目的・条件・機能や用途などを考えて表現することに興味を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。 b: アピールする事物などデザインの目的・機能・美しさなどからコンセプトを生成し、デザインを練っている。 c: 目的や意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、目的や計画を基に表現している。 d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさなどを感じ取り、生活や社会を心豊かにするデザインの働きや作品などについて理解を深めている。自分の考えを相手にわかりやすく伝えるよう工夫し、発表している。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 発表の様子

2学期	モダンテクニックを生かして	<b>【絵画・彫刻】</b> ・絵本の鑑賞 ・モダンテクニックについて知り、技法を理解する。 ・5枚の紙にモダンテクニックを生かした表現(色彩のコントラストも考え)を行う。 ・『エリックカール』のコラージュ方法を理解し、制作した5枚の紙を切り貼りしてコラージュ表現を行う(テーマは生物の世界を表現する)。	○	○	○	○	a:モダンテクニックを生かして表現することに興味を持ち、色彩の働きなどを考えながら制作したり、 b:課題の条件、技法、色彩、美しさなど視覚効果を考え、表現の構想を練っている。 c:モダンテクニックの技法を理解し、技法を生かし、自分なりの表現をしている。 d:絵本を鑑賞し、作者の意図や表現の工夫などを感じとり、表現方法の理解を深める。また、感じ取ったことを自分の作品に生かそうとする。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品 鑑賞の様子 ワークシート
	シルクスクリーンで作るハンカチ。	<b>【絵画・彫刻】</b> ・版画の種類とシルクスクリーンの技法を理解する。 ・シルクスクリーンで使用する道具の使い方を理解する。 ・ハンカチのデザインを考えプリントに下描きする。 ・下描きをスクリーンに転写して版を作る。 ・必要な液剤を使用し、スクリーンを完成させる。 ・インクの色、構成を工夫して版を刷り、ハンカチを作る。 ・できた作品の鑑賞会	○	○	○	○	a:スクリーンの仕組みを理解して、版画で表現することに興味を持ち、図案の構想を練ったり、色彩の組み合わせや図案の組み合わせ方を考えて表現しようとしている。 b:条件や美しさなどから、デザインを考えている。 c:版画で使用する用具の特徴を理解し、効果的な表現ができる。 d:作者の意図や表現の工夫、よさや美しさを感じ取り、作品への理解を深めている。	アイデアスケッチ 制作の様子 制作途中の作品 作品

	動く人物を表現する	<p>【絵画・彫刻】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちとペアになり、相手の姿(全身)をクロッキーする。</li> <li>・彫塑と、彫刻の違いについて理解する。</li> <li>・針金で芯棒を作り、ポーズを考える。</li> <li>・ポーズが決まれば粘土で肉付けし、人物を表現する。</li> <li>・互いの作品を鑑賞し、友だちの作品について感想文を書く。</li> </ul>	○				<p>a: モチーフを立体で表現すること、モチーフに動きをつけることに興味を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとする。</p> <p>b: 対象を見つめ、形体の特徴をつかみ、表現しようとしている。素材、表現形式の特性などから主題を生成し、構想を練っている。</p> <p>c: 素材の特徴を生かし、彫刻の骨組みの制作や肉付けができる。素材の特性を生かし、意図に応じて表現を工夫している。</p> <p>d: 作者の意図や表現の工夫、よさや美しさを感じ取り、作品への理解を深めている。感じたことを言葉で表現できる。</p>	クロッキー制作の様子 制作途中の作品 作品鑑賞の様子 ワークシート
	窓から見える風景	<p>【絵画・彫刻】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間、場所、場面を考え、自分が見る窓からどんな風景が広がるかを想像し、プリントに風景の下書きをする風景を描く。</li> <li>・B3ボードに下書きをする</li> <li>・下書きができたなら、絵の具で着色する。 (全体を薄くぬる下塗りをしたあと、細部を仕上げていく)</li> <li>・作品に関するワークシートを記入する。</li> <li>・他者の作品を鑑賞する。</li> </ul>	○	○			<p>a: 自己の経験や想像力を働かせて風景を描くことに興味を持ち、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>b: テーマを基に自己の経験を思い出したり、感性や想像力を働かせて主題を生成する。形態・色彩・構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。</p> <p>c: 意図に応じて用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を迫り表現している。</p> <p>d: 他の生徒の作品のよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫を感じ取り、作品などについて理解を深める。</p>	アイデアスケッチ ワークシート 制作の様子 着色の仕方 作品鑑賞の様子
	授業のまとめ	<p>【鑑賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・美術Ⅱの作品を返却し、1年間で学んだ技法と表現を振り返る。</li> <li>・1年のふり返り感想シートを記入する。</li> </ul>	○			○	<p>a: 1年を振りかえり、授業で学んだ技法を思い出し、授業の感想を書こうとしている。</p> <p>d: 自分の作品や他者の作品を鑑賞し、1年の振りかえりとしてプリントを記入する。</p>	ワークシート 授業の様子

※ 表中の観点について a:美術への関心・意欲・態度      b:発想や構想の能力  
c:創造的な技能      d:鑑賞の能力

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。

